

令和6年第5回網走市教育委員会会議録

令和6年4月25日（木）午前10時00分 西庁舎会議室に招集した。

1. 出席者は次のとおりである。

教育委員 佐々木 砂宗 ・ 池田 真哲 ・ 鴻巣 知香子（欠席：富永 雄一）
教育長 岩永 雅浩

2. 会議の議案は、次のとおり。

議案第1号 網走市学校運営協議会委員の任命について【公開】【原案可決】
議案第2号 網走市教育支援委員会委員の委嘱について【公開】【原案可決】
議案第3号 網走市スポーツ推進審議会委員の委嘱について【公開】【原案可決】

3. 説明のため出席した者は、次のとおり。

学校教育部長	北 村 幸 彦
社会教育部長	吉 村 学
学校教育部次長	大 垣 正 紀
学校教育課長	高 橋 善 彦
学校教育課参事	里 見 達 也
スポーツ課長	大 西 広 幸
スポーツ課参事	佐 藤 潤 一

4. 会議の書記は、次のとおり。

学校教育課庶務係 小 澄 晃

5. 会議の署名委員は、次のとおり。

本日出席委員全員および教育長

岩永教育長 それでは、ただいまから令和6年第5回網走市教育委員会を開会いたします。

 本日の出席委員は、教育委員3名と教育長が出席をしております。富永委員からは、欠席の連絡がございました。

 本日の会議録署名委員の指名ですが、出席をされている委員全員と教育長といたします。

 それでは、教育行政について、事務報告をお願いいたします。

北村学校教育部長 2月14日から4月25日までの学校教育部教育行政事務報告

吉村社会教育部長 2月14日から4月25日までの社会教育部教育行政事務報告

岩永教育長 ただいま、報告のありました教育行政の報告について、ご質問や確認事項等ございませんか。

池田委員 学校教育部の第2回部活動地域移行検討協議会について、進捗はどのような話になったか、お聞かせください。

北村学校教育部長 部活動地域移行の進捗状況ですが、本日のその他のほうで説明させていただきたいと思います。

岩永教育長 部活動地域移行にかかる第2回目の検討協議会については、その他の事項で後ほどご説明させていただきます。他にいかがですか。

 （「ありません」との発言あり）

 それでは、以上で教育行政についての事務報告を終わらせていただきます。

 本日は、議案3件です。

 議案第1号「網走市学校運営協議会委員の任命について」を上程いたしますので、事務局の説明をお願いいたします。

高橋学校教育課長 議案書の1ページから3ページ、教育委員会資料1ページ、2ページをご覧ください。

 ただいまご上程いただきました、議案第1号「網走市学校運営協議会委員の任命について」ご説明申し上げます。

 この協議会は、網走市学校運営協議会規則に基づき、任期を2年として設置されているところでございます。このたび、議案書2ページの東小学校、白鳥台小学校、第四中学校の学校運営協議会は、PTA役員の交替により

新たに委員を任命しようとするものであり、任期は前任者の残任期間の令和7年3月31日までとなっております。

次に、議案書3ページの中央小学校、西小学校、第二中学校の学校運営協議会は、さきにご承認いただき任命済みであります12名のほかに、任期満了となっていた者について、今回、各所属から推薦があった6名を追加で任命しようとするものであり、任期は令和8年3月31日までとなっております。

以上、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

岩永教育長

ただいま、議案第1号につきまして提案理由の説明がございました。これにつきまして、ご質問あるいはご意見がございましたらお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「ありません」との発言あり)

それでは、ないようですのでお諮りいたします。議案第1号について、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「ありません」との発言あり)

異議なしと認めまして、本案は原案のとおり決定させていただきます。

次に、議案第2号「網走市教育支援委員会委員の委嘱について」を上程いたしますので、事務局の説明をお願いします。

高橋学校教育課長

議案書の4ページから5ページと、教育委員会資料3ページをごらん願います。

ただいまご上程いただきました、議案第2号「網走市教育支援委員会委員の委嘱について」ご説明申し上げます。

この委員会は、心身に障がいのある就学予定者及び児童生徒の就学に対する学校教育法施行令第18条の2によるところの「専門的知識を有する者の意見」を聞く場として、網走市附属機関条例第3条別表に基づき、記載のとおり在所掌事項を行うことを目的に設置されております。

委員構成につきましては、記載のとおり、各所属団体等からの推薦により委嘱しており、現在の委員の任期は令和7年6月30日までとなっております。

委員会資料3ページ、網掛けの4名につきましては、人事異動等による転

出や校務分掌の変更により解任され、委嘱予定者は新たに各所属から推薦のあった者4名を委員に委嘱しようとするもので、議案書の5ページに記載のとおりです。任期は前任者の残任期間であります令和7年6月30日までとするものです。

以上、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

岩永教育長

ただいま、議案第2号につきまして、提案理由の説明がございました。これにつきまして、ご質問あるいはご意見がございましたら、お受けしたいと思います。

(「ありません」との発言あり)

それでは、ないようですので、お諮りをいたします。

議案第2号について、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「ありません」との発言あり)

それでは、異議なしと認めまして、本案は原案のとおり決定させていただきます。

次に、議案第3号「網走市スポーツ推進審議会委員の委嘱について」を上程いたしますので、事務局の説明をお願いします。

大西スポーツ課長

ただいまご上程いただきました、議案第3号「網走市スポーツ推進審議会委員」の委嘱について、ご説明申し上げます。

議案書の6ページ、7ページ、あわせて資料4ページをご覧ください。

網走市スポーツ推進審議会委員は、「スポーツ基本法」並びに「網走市附属機関条例」に基づき教育委員会が委嘱するもので、所掌事項は7ページに記載のとおりでございます。

定数10名のうち学識経験者1名が、転出したことにより欠員となりましたため、委嘱予定者の山根 伸也 氏を、前任者の残任期間であります令和7年8月31日まで委嘱しようとするものでございます。

よろしくご審議賜りますよう、お願い申し上げます。

岩永教育長

ただいま、議案第3号につきまして提案理由の説明がございました。これにつきまして、ご質問あるいはご意見がございましたら、お受けしたいと思います。

佐々木委員 新しく委嘱される山根 伸也さんが自衛隊の方とのことですが、選出区分が学識経験者ということで選ばれているのですが、どういう意味での学識経験者なのでしょうか。教えてください。

大西スポーツ課長 山根 伸也氏につきましては、スキーの技能検定員や軟式野球の審判員など資格を保有していることと、スポーツ協会の理事として長年勤務しておりますので、スポーツ関係の学識経験者として選出しております。

岩永教育長 他はよろしいですか。

(「はい」の声あり)

それでは、ないようですので、お諮りをいたします。
議案第3号について、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「ありません」との発言あり)

それでは、異議なしと認めまして、本案は原案のとおり決定させていただきます。

以上で、本日の案件につきましては全て終了いたしました。その他、案件以外で何かございますか。

里見学校教育課参事 その他といたしまして、私のほうから、昨年度より進めております中学校部活動の地域移行に係る取組状況をご説明させていただきます。

お配りした資料をご覧くださいながら、説明させていただきたいと思います。昨年8月17日に開催されました教育委員会におきまして、一度こちらの動きをご説明させていただきましたが、その後、半年ほど時間が経過したこと、また新たに鴻巣委員が就任されましたので、改めてこの課題に対する国や北海道の動向、また当市としての取組、今後の経過などにつきまして簡単にご説明させていただきます。

資料の1ページから2ページをお開きいただきたいと思います。

こちらについては、おさらいとなりますが、学校の部活動の地域移行が進められることとなった背景でございます。

全国的な少子化が進む中、学校における部活動はこれまでの体制で運営することが非常に難しい環境となっております。こちらの資料に掲載してありますのが、北海道内の中学校の生徒数、下のほうが部活動数の推移の資料でございます。資料に記載はございませんが、網走市におきましては、生徒数の減少について、昭和61年度は2,184人に対しまして令和4年度末に

つきましては776人ということで、減少数は1,408人、約64.4%の減と、北海道の数値よりも減少率がやや高くなっております。

このような背景から、国及び北海道では、資料2ページの右上の点線で囲んだところにあります「新しい部活動のあり方に関するガイドライン」、また方針を策定いたしまして、地域の子どもたちが将来にわたって、希望する活動に継続して親しむことのできる機会の確保に向けた取組を推進することとし、その段階的な移行として、休日における部活動の地域移行の取組を進めることとの記載があり、令和5年度から7年度の3か年を「改革推進期間」として指定されたものであります。

資料の3ページをご覧ください。

このフローチャートが、部活動の地域移行に向けた手順として国より示されているものでございます。これを受け、網走市におきましても、他の地域と同様に部活動の在り方や今後の方向性について検討するため、資料4ページにございます「網走市部活地域移行検討協議会」を昨年8月28日に委員10名で設置したところでございます。委員の一覧については、5ページに記載のとおりです。

ここまでが、昨年の8月にご説明した内容でございます。

次に、資料の6ページをご覧ください。

先ほどご説明した改革推進期間である3か年での、当市のスケジュール案でございます。

一番上の令和5年度の欄につきましては、昨年度中の取組実績として記載させていただきました。設置をしました検討協議会につきましては、8月と2月にそれぞれ1回計2回開催しております。

池田委員さんからも先ほどお話がありましたとおり、2回目につきましては5年度中の取組に関する結果の情報共有と令和6年度以降にどのように取り組んでいくかという部分について、ご説明と意見交換をしているところでございます。

令和6年度以降においては、さらに検討内容を先に進めるため、時機をみながら開催回数を増やしていきたいと考えております。

協議会の開催以外では、10月に市内児童生徒、保護者、教職員を対象とした部活動地域移行に係るアンケート調査を実施しております。

また、11月8日には部活動の地域移行にかかる住民説明会をエコーセンターにおいて開催しております。エコーセンターの大会議室を会場といたしまして、北海道教育委員会の担当部署による、国や北海道の地域移行に関

する動向についての説明、道教委から委嘱をされている、部活動のあり方支援アドバイザーによる事例発表と移行の進め方についてご講演をいただいているところでございます。当日は、保護者等130名のご参加をいただいたところでございます。

そのほか、昨年度内においては他自治体における取組事例と今後の進め方にかかる情報収集を行ったところでございます。

本年度につきましては、取組期間の2年目といたしまして地域移行の可能性をさらに探るため、市内少年団あるいは文化芸術団体、クラブチームを対象としたアンケート調査の実施を準備しているところでございます。調査結果を踏まえたうえで、地域移行の実証実験ができるかどうか、検討を進めるほか、資料の中段にあります、部活動地域移行推進計画の策定に向けて事務を進めていく予定です。

本年度の実施状況をふまえて、令和7年度はさらに地域移行に向けて踏み込んだ取組を進められるよう、事務を進めてまいりたいと考えておりますが、本件に関しましては、対象となる生徒の数、市内の中学校数、受け皿となりうる団体があるかどうか、さまざまな地域事情により大きく取組が異なる部分もございますので、網走市としてどのような形が望ましいのか、検討協議会の場で議論を深めてまいりたいと思います。

先ほど令和5年度中に実施した取組として、アンケート調査というところでしたが、こちらの結果概要を掲載させていただいております。調査項目が非常に多岐にわたりますので、詳細の説明については省略させていただきます。ただ、結果については市の公式サイトで情報を掲載しているほか、8ページには主だった内容として、結果を載せていますので、公式サイトの掲載と合わせて後日ご覧いただければ幸いです。以上、簡単ではございますが説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

岩永教育長

資料の6ページ以降が、昨年説明させていただいた後の取組ということで、皆様のほうから確認したいことがあればお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。

補足ではありませんが、管内の教育長部会の、特に網走ブロックの取組として、ただいま参事から説明のありましたアンケート調査について、網走市の質問紙を転用する形で、大空、斜里郡3町についても調査を実施することになっておりまして、まだ結果については聞いておりませんが、連携した取組を行うという部分では、教育長部会の中でも確認していると

ころです。

調査の実施は終わっていることと思いますし、定住自立圏を組んでいる町でもありますので、清里町の教育長が他の町についてもグリップをして、網走市とどういう話し合いをするのかということを検討させていただきたいと相談を受けておりますので、具体になったときに、また教育委員会の中で報告させていただきたいと思います。

佐々木委員

地域移行が進み、野球部が集約され、網走の野球クラブというようなかたちで運営されるとして、実際の運営はクラブチームで主導者が入って運営するのでしょうか。事務局的な位置づけで市の職員がサポートに入るというような流れにはならないのでしょうか。

あくまでクラブチームの運営側で100%運営するのか、それとも加盟している保護者も含めて運営していくことになるのか、それとも市の職員が担当として入る形になるのか、見えているものがあれば教えていただきたいと思います。

里見学校教育課参事 現段階では特に決まったものや計画は、持ち合わせておりません。

ただ、国の方針、北海道の方針などで例として示されているものとして、総合型のスポーツクラブのようなところを間に介して、その下にクラブチームがあるようなモデルが一例としては示されていました。しかし、クラブチーム事務局自体を自治体が担うというような具体的なものはありません。方向性としては地域全体に下ろしていくというような部分もありますので、どのような動きになるかというのは、地域性、受け皿という部分も加味しながら、今後の検討の中で議論していきたいと考えております。

池田委員

アンケート結果の詳細はHPを見ればわかると思いますが、先生方の働き方改革のために実施するということもあると思います。結果の中で気になったのが、中学校教職員の3分の1の割合で「いいえ」と回答している部分で、多くの先生方は地域移行には賛成と捉えられると思いますが、部活を一生懸命行っている先生が「いいえ」と回答している気がします。10月の説明会でも先生方が地域のクラブチームに指導者として入るようなモデルも出ていましたので、ゼロにはならないと思いますが、そういう先生方が活かされるよう、全く外れないようにしていただきたいなと思います。

里見学校教育課参事 教職員の皆様の意識について、働き方改革という部分もありまして、アンケート結果の中でも8割以上の部活に携わっている先生が「指導に負担を感じている」「校務としての教材研究等に影響がある」というのが本音のところではないかなと思っております。一方で、指導者を確保しなければならないという部分も大きな課題であり、今携わっていただいている教職員

の方にも、形は変わりますが、指導者として携わっていただくという方向性がないことには、部活動の地域移行は進んでいかないのではと考えているところです。

北村学校教育部長 捕捉になりますが、教職員が部活動に携わりたいという希望があれば、兼職・兼業の届け出を提出いただければ、指導者として引き続き活動できるという建て付けがございます。

岩永教育長 アンケートでの回答ですので、「指導者として」、「指導者の補助」、「関わりたい」、「関わるべき」、「地域の一員として」など、アンケートのみではわかりえない部分もあると思いますので、聞き取りも行いながら進めることが、実態により近づくのではと考えております。

生徒の数の推移についてですが、ショッキングなものとなっておりますが、市でも10年前に人口ビジョンを策定し、推計をしております。今年度には改めて人口ビジョンを策定し推計をすることとなっております、結果を示すとのことですので、そのあたりも参考にさせていただきたいと思います。

他によろしいでしょうか。

佐々木委員 令和6年度の協議会の開催回数は、何回くらい開催予定でしょうか。

里見学校教育課参事 令和5年度は8月に網走市部活移行検討協議会を設置したこと、住民説明会やアンケートを挟みましたので、2回に留まってしまったというところがあります。

目途としては、令和6年度もクラブ、少年団へのアンケート、関係団体との意見交換も行いますので、都度の活動ごとに検討協議会を開催し、方向性、取組の議論を図りたいと考えております。少なくとも四半期ごとに開催ができればと考えております。

岩永教育長 その他よろしいでしょうか。

(「ありません」の声あり)

それでは、ないようですので、以上をもちまして本日の教育委員会を閉会させていただきます。ありがとうございました。

【午前10時34分 終了】